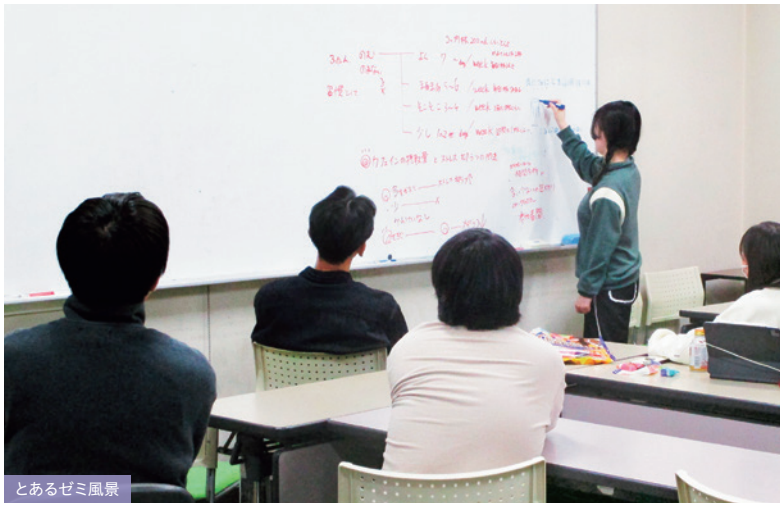
心理コース

募集人員 50名

詳細はコチラ

専門的な知識と技能を兼ね備えた「心理援助専門職」の育成
「ハート」ある現場志向の「心理援助専門職」の養成

心理コースでは、心理学の専門的な知識と技能を持ち、子どもや保護者、学校・地域を支援できる心理援助職の国家資格である公認心理師の養成を目指します。講義や実習においては、子どもへの専門的支援や家庭との連携のあり方の検討、そして学校領域における連携の実践に力を入れています。スクールカウンセラーや他領域を含む対人援助職として、医療領域の知識を基礎として子どもたちの成長発達を促進し、学校・家庭・地域社会に貢献できる人材を育成したいと考えています。


とあるゼミ風景

心理実習での発表風景

樹木画テストの実施イメージ

4年間の学び

心理コースでは、公認心理師養成のカリキュラム案を基本軸に実践的な授業を展開しています。
2年生から「心理学実験」「臨床心理学概論」などの基礎理論を学びます。3年生では「心理学統計法」などの研究法を学び、卒業論文に備えます。また、「司法・犯罪心理学」「社会・集団・家族心理学」、「医学、精神医学」の各論を学びます。「教育・学校心理学」「学校と家族」などの教育支援に関する授業や、「心理的アセスメント」を受講します。公認心理師になるためには「心理演習」「心理実習」などの実習・演習系の受講が必要となります。多くの学生は、大学院に進学し公認心理師受験資格や臨床心理士受験資格を得て、心理専門職を目指します。

目指せる資格

◎公認心理師（国家資格）
①大学学部にて指定の科目を履修して卒業後に、公認心理師養成連盟指定の大学院進学（本学含む）
②大学学部にて必要単位を修め、卒業後に厚生労働省が認定する特定の施設において2年以上の実務経験を積む（受験資格）
＊公認心理師養成大学院進学後は修了までに国家試験受験・資格取得

◎臨床心理士（民間資格）
大学院での開講（修了後に受験資格）

先輩Voice

教育支援専門職養成課程 心理コース4年
岐阜県立岐阜北高等学校出身

実習やケーススタディなど実践的な学びを通じて、新たな視点や気付きを得ています。

心理学を専門的に学ぶだけでなく、教育現場での実習やケーススタディなど実践的な学びも充実しています。「司法・犯罪心理学」の授業では、報道された事件などを題材に、犯罪者の心理的傾向を分析。犯罪タイプによって幼少期の養育環境や思考が似ていることや、古典的な原因論について理解を深め、こうした知識が更生に向けた支援方針を決める際に役立つことも分かりました。また、学校や病院などでの現場経験を持つ先生方が多く、実際のお話を聞く中で具体的な仕事のイメージにつながっています。

■ 2023年 2年次後期の時間割（例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ		
2時限		学習・言語心理学	学校体験活動Ⅰ	健康・医療心理学	心理的アセスメントⅠ
3時限	精神疾患とその治療	心理学的支援法	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。		スポーツⅡ
4時限				心理学実験Ⅱ（135分授業）	
5時限	キャリアデザインⅡ			心理学実験Ⅱ（135分授業）	

＊上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式（オンデマンド型）で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。